

(2)ノ函頭預書ヲ作り、會社側竹内取締役ト再會交渉セルニ前
合標之ヲ拒絶セリ

(3)交渉不調ニ了リタル被解雇者側ハ社長ニ直接交渉スヘシト
ノ議纏リ竹内取締役ヲ通シ翌二日社長ニ面會方申込タルヲ
以テ會社側ハ之ヲ承認スルニ至レリ

(4)翌二日前約ニヨリ社長ハ被解雇者代表六名又交友會幹部ニ
名ハ會社内ニ於テ會見セルカ代表ヨリ

喫災後會社復興ノ為協力シ今日ニ及ヒタルニ突然解雇セル
不誠意及解雇者ノ人選ノ不當ナル其ヲ詳述ヘタルニ

社長ヨリ會社ノ苦境ヲ説明シ且人選ノ其ハ答弁ノ限リニ非
サル旨ヲ述ヘ諒解ヲ求ムル也アリタルニ

代表者ハ復職ノ不可能ヲ悟リ更ニ別記(2)ノ要求書ヲ呈出シ
回答ヲ求メタルニ

竹内取締役ヨリ返取手當ノ増額ハ拒絶シ新規採用ノ件ハ考

慮スル旨ヲ答ヘ會見ヲ了レタリ

(5)斯クテ被解雇者側ハ交友會負ト種々協議ノ上四日更ニ別記

(4)ノ要求書ヲ作成シ四日會社内ニテ竹内取締役ト會見呈出
セルカ

全取締役ヨリ再懸示人等ヲ差之決別セリ

七、經過

(1)勞働者側

會社ヨリ職首ノ發表アルヤ職工十九名中三名ハ即時返取手

當ヲ受領セルモ十六名ハ不當解雇ナリトシ協議ノ上解雇セ

ラレサル残立ト連絡協議シ前記ノ如ク交渉ヲ繼續中ナリカ

此ノ間解雇手當ハ會社竹内取締役ニ預ケ置クコト、シ事件
解決迄ハ二場内ノ出入ノ承認ヲ求メ就業中ノ職工ハ之ヲ援
助スヘコト、ナレリ

程テ二場内ニ於テハ作業率低下シ急業状態ナルカ去三日ニ